



リサーチセミナーを開催しました

9月16日(土)に、理数科1年生を対象に、第3回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学農学部 生命機能科学科 関清彦先生に、「海からの贈り物(キチン・キトサンの有効利用)」と題して、農学分野のそれぞれの研究内容、キチン・キトサンについての研究の事例紹介や活用方法など、研究の意義やおもしろさ等をお話いただきました。



生徒の感想

- 「キチンがカニ殻など身近なものから作り出され、これを使うと猫の足のケガが完全に回復したことに驚いた。」
- 「捨てているカニやエビの殻が、ダイエット食品などに生かされていたことを知り、さらに生物について学びたいと思うことができました。」
- 「農学部では、農業に関係のあることを中心に学ぶという印象が強かったのですが、今日の講義を聞き、医療に近い内容の研究なども行っていることを知りました。」
- 「日常生活において、不思議を見つけることが大事で、それによって新たな発見が見つかるきっかけになると思う。」

共創セミナーを開催しました

9月21日(木)に、理数科1年生を対象に、第1回「共創セミナー」を実施しました。株式会社ワイビーエム 開発本部 開発部 大久保博晃先生に、「地中熱ヒートポンプシステムの研究開発について」と題して、地中熱ヒートポンプシステムの研究開発についての事例紹介などを通して、企業活動における課題発見や課題解決の在り方等をお話いただきました。

生徒の感想

- 「地中熱ヒートポンプシステムという製品を初めて知りました。製品を開発し、さらに改良を重ねることで、より良く製品の能力を向上させ、結果、コスト削減や発電量の増加につながっていくのだと思いました。」
- 「研究を進める中で課題を見つけるには、デメリットに着目するとより良い研究成果を得ることができるので、3学期の課題研究では、意識しようと思いました。」
- 「大きな問題からとどんしほり込んで課題を見つけることが大切だと思いました。」
- 「研究にあたって、未知の領域や研究されていない領域を研究することが大切だと改めて感じました。」



今後の課題研究での学習活動に向けて

「リサーチセミナー」と「共創セミナー」は、それぞれ自然科学分野の課題または社会課題を発見しようとする意識を啓発し、課題解決の計画を立てるための知識を身に付けることを目的としている講座です。理数科1年生は、3学期の研究計画書作成に向けて、今後も意識して取り組んでほしいと思います。

理数科2年生については、1年生の「数学Ⅰ」で標準偏差や相関係数の意味を学習し、現在は「SSH情報」の授業で、表計算ソフトを用いて散布図に近似曲線を表すなど、グラフの傾向をより正確に表す演習をしています。これらの学習で学んだことを活用して、より説得力のあるグラフを作成し、課題研究中間発表会に臨んでほしいと思います。

